

編 集 後 記

2007/2008 年度雪氷編集委員会による「雪氷」の発行は今号で終了します。これまで編集作業に尽力頂きました編集委員の皆様、特集号を担当頂きました分科会の皆様、査読者の皆様、そして何にも増して投稿頂きました会員の皆様に心より感謝いたします。

現在最も気がかりなことは、投稿論文の減少です。2003～2006 年まで平均年 20.5 編あった研究論文（論文、報告、解説など、ただし特集号を除く）がここ 2 年は 13、14 編と激減しており、時には研究論文のない号を発行しなければならないかと心配したこともありました。このような状況が続くようであれば、学会の財政が逼迫していることでもあり、「雪氷」の年間発行号数の削減や電子出版について検討しなければならないかと思っています。

このような投稿論文の減少は、グローバルな研究が増え英文雑誌への投稿が増えたこと、国際的に著名な学会誌への投稿が高く評価されるようになったこと、などの要因によるという意見もありますが、日本語による、より身近な人々への情報発信も極めて重要です。より多くの研究成果が「雪氷」誌上に掲載され、読まれ理解され利用されることで、わが国の雪氷学は発展し、社会への貢献ができるものと思います。

次号からは横山宏太郎氏を委員長とする新編集委員会のもとでの発行となりますが、私も論文担当委員として手伝わさせていただきます。「雪氷」をより充実した学会誌にするための意見や提案がありましたら、是非新編集委員会の方へお寄せください。

(遠藤八十一)